

彩ゆたかな春の花がそれぞれ見頃を迎えています！

暖かな春を迎え、みちのく公園は春の花が彩り豊かに咲き誇っています。

南地区「大花壇」では**63品種10万本のチューリップ**やパンジー・ビオラ、ピンクが映える**2万株のシバザクラ**が、「だんだん畑」では黄色が鮮やかな**22万本のナノハナ**。そして、「湖畔のひろば」ではヤマザクラが間もなく見頃を迎えます。北地区「自然共生園」ではオキナグサが見頃、里山地区「りゅうきんかの谷」ではリュウキンカが群生し見頃を迎えています。様々な種類の花が公園内を彩っています。みちのく公園で春をおもいっきり感じてください。



南地区「大花壇」
チューリップ・パンジー・ビオラ



南地区「だんだん畑」
ナノハナ



北地区「自然共生園」
オキナグサ



里山地区「りゅうきんかの谷」
リュウキンカ

令和3年4月11日撮影

資料配信先:宮城県政記者クラブ・仙台市政記者クラブ・東北電力記者クラブ・仙南記者クラブ

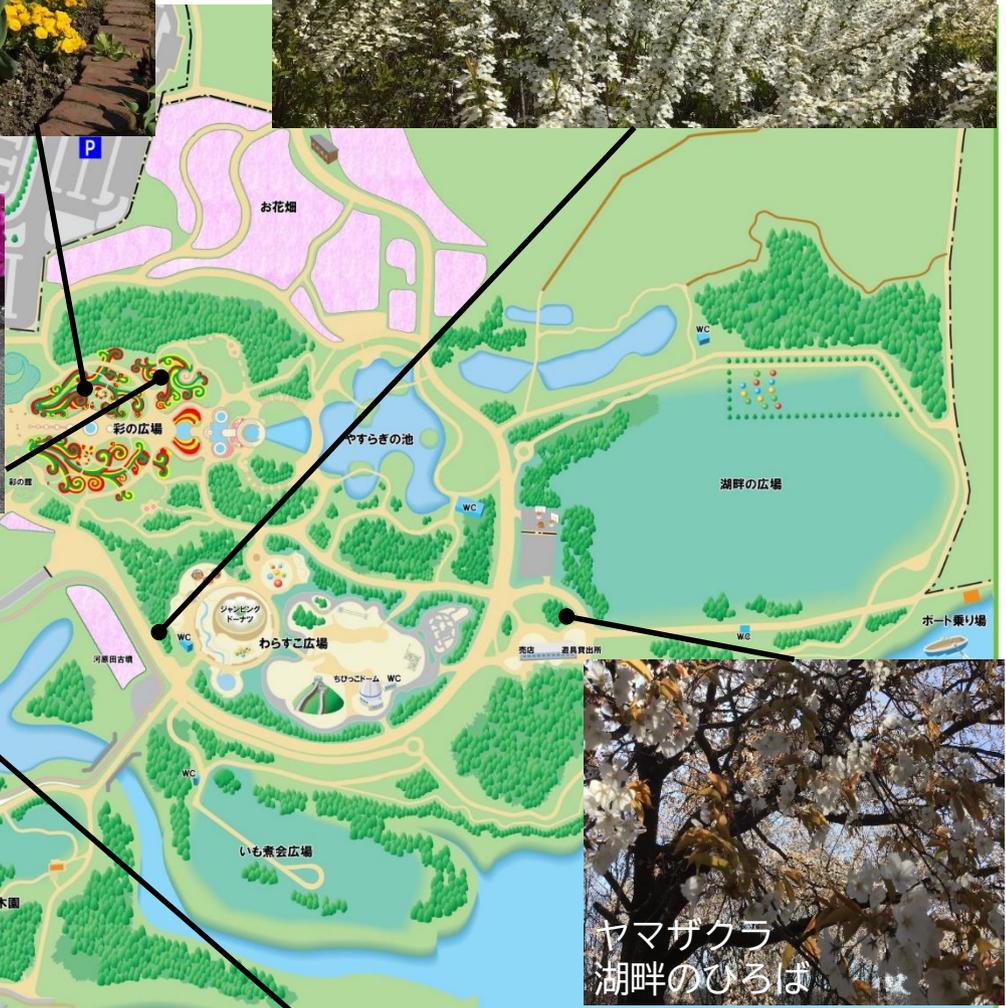
問合せ

国営みちのく杜の湖畔公園 みちのく公園管理センター
〒989-1505 宮城県柴田郡川崎町大字小野字二本松53-9
Tel 0224-84-5991(代) Fax 0224-84-5992

植物担当 業務一課長 渡辺 真人(内線652) 広報担当 調査役 菅原 利之(内線673)

南地区 おすすめ「お花MAP」

2021年
4月12日(月)



みちのく公園HP「花ギャラリー」にて随時更新中
<https://michinoku-park.info/flowers/>



北地区自然共生園 おすすめ「花MAP」

2021年4月12日(月)



展望野草園



オキナグサ

かつては川崎町のあぜ道などにたくさん生えていたオキナグサ。絶滅危惧種に指定され、最近ほとんど見られなくなりましたが、当園ボランティアが希少な種から苗を育て、展望野草園内で繁殖させています。

・オキナグサ

その名は花後の白い毛の果実を翁の頭に見立てたもので、この仲間は、日本には本州から九州の各地に自生するオキナグサと高山帯に生えるツクモグサの2種があり、北半球には約45種が分布している。

花言葉 「何も求めない」「奉仕」「裏切りの恋」など

キンポウゲ科オキナグサ属

原産地 日本、中国、朝鮮半島

みちのく公園HP「花ギャラリー」にて随時更新中

<https://michinoku-park.info/flowers/>



